

スマイルまなづる 156号

真鶴町立まなづる小学校

令和7年度学校だより

10月28日(火)

学校教育目標

「考える 関わる 創りだす」

～自分で考え 仲間と考え 創りだしたり解決したりする子の育成～



学校ホームページ用
2次元コード

運動会大成功！！～私たちがつくる運動会～

10月18日（土）絶好の運動会日和のもと運動会を行いました。今年のスローガンは「祝20周年 みんなで輝いて白熱した運動会 心を一つに」です。4月5日の着任式で、6年生から「私たちがつくる運動会を楽しみにしていてください。」と言われてから、この日を楽しみにしていました。

運動会を迎えるまで、そして当日と、「考える 関わる 創りだす」姿をたくさん見ることができました。運動会当日の姿が「創りだしたもの」の一つですが、それ以外にも「創りだしたもの」があります。それは計画・練習の過程で、仲間共に悩み、考え、相談する中で培ったり、運動会を終えて芽生えたりしたものです。それらを紹介します。

- ・仲間と協力して取り組んだり、創り上げたりする楽しさ
- ・練習することで上達するという実感からの練習の大切さ
- ・周りの人のことを考える優しさや上級生としての自覚
- ・自分たちで創るとは責任をもって取り組むことなど

このような「子どもたちがつくる運動会」を実現させるには、先生たちの「子どもたちの挑戦やアイデアを認める寛容さや寛大さ」、「待ちの姿勢」、「練習過程でのがんばりを見取り、褒めること」などが重要です。先生が前面に出て仕切ってやることは簡単です。もしかしたら、もっとよいものができるかもしれません。しかし、運動会後に残るものは何でしょう。また、先述したような子どもたちの成長を大切にするために、子どもたちがつくる運動会を大切にしています。閉会式でも話しましたが、今年の6年生のがんばりを5年生はしっかり見ていました。きっと、「私たちがつくる運動会」は今後も引き継がれていくと思います。

保護者、地域の皆様、温かいご声援本当にありがとうございました。また、事前の草むしりや当日朝のテント設営にご協力くださった保護者の皆様も大変ありがとうございました。



5・6年生表現「真鶴の魅力」

「学校の働き方改革」～下校時のスクールバスについて～

現在、バス利用児童は、下校時には登校時コミュニティバス利用児童も含めて全員スクールバスを利用しています。そして、教職員が名簿を使って乗車確認を行っています。このような現状の中、保護者の方から、教職員に代わって乗車確認をやってもよいという大変ありがたい申し出がありました。その保護者の方からは、「先生方にはバス対応の時間を子どもたちと接する時間に費やしてほしい。」と言われました。学校としても昨年度の学校運営協議会で議題にし、地域や保護者の方にお願い・移行できないかを模索していたところです。

この申し出に伴い、教育委員会から、バス通学児童保護者に向けて、改めて「バスの待ち時間の事故や怪我等が発生した場合は、登下校や放課後の児童の安全は学校の管理下ではなく、保護者の管理下となるため、当該児童の保護者の責任となる」ことについて周知してもらい、同意書を提出してもらっています。

先月、学校と保護者の方とで引継ぎを行い、11月4日（火）から、保護者の方にお願いすることになりました。保護者の方が乗車確認を行うのは、週2日間程度です。それ以外はこれまで通り学校が行います。このような動きは、現在、県が進めている「学校の働き方改革（裏面参照）」まさにそのものです。心より感謝申し上げます。他にもご協力いただける保護者、地域の方のがいらっしゃいましたら学校にご連絡ください。

